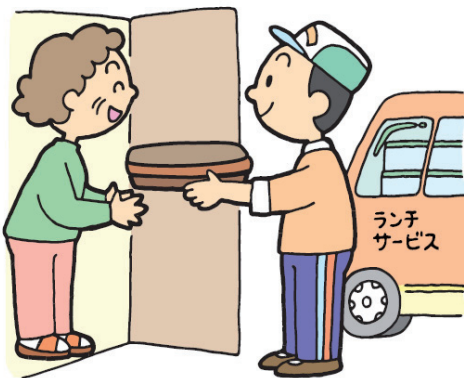


- 一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の生活状況等を把握し、必要なサービスの提供につなげる体制を構築する。
- 65歳以上の病弱な一人暮らし高齢者及び調理が困難な高齢者に対し、緊急通報用の機器の貸与や配食サービスの提供により見守り体制の強化を図る。
- 親族等の支援が期待できない高齢者や障害者の権利擁護を図るため、成年後見区長申立や専門家による相談等を実施し積極的に支援する。

【主な事業】（末尾番号は第6章の事業番号に対応）

- ◆ 一人暮らし高齢者等アウトリーチ事業 28
- ◆ 高齢者緊急通報システム事業 40
- ◆ 高齢者配食サービス事業 39

- ◆ 認知症・虐待専門対応事業 34
- ◆ 成年後見事業 32



配食サービス



専門相談による支援

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (22年度)	4年後 (26年度)
一人暮らし高齢者等アウトリーチ事業による高齢者支援件数	—	—	→
高齢者配食サービス事業の延配食数	31,475食	20,362食 (21年度)	90,000食
高齢者緊急通報システム設置台数	545基	530基 (21年度)	700基
認知症・虐待専門相談回数	34回	34回 (21年度)	35回
成年後見区長申立件数	7件	17件 (21年度)	22件

福祉

2

地域社会への参加と貢献をあとおし

- 高齢者元気あとおし事業や地域支え合いサポーターの育成等を推進することにより、社会参加・地域貢献活動への参加意欲を高める。
- 身近な公衆浴場を活用し、高齢者の健康増進と高齢者間の交流を図り、閉じこもりを予防する。
- 地域の活力の担い手としての高齢者の輪を広げる。

【主な事業】(末尾番号は第6章の事業番号に対応)

- ◆ 高齢者元気あとおし事業 55
- ◆ 敬老入浴事業 52
- ◆ シルバー人材センター運営費助成事業 35

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (22年度)	4年後 (26年度)
高齢者元気あとおし事業登録者数	—	235人 (21年度)	400人
敬老入浴デー実施回数	21回	24回	26回



福祉

3

いつまでもいきいき生活！介護予防大作戦

- 生活機能評価を実施し、老化のリスクが高く介護予防事業参加が望ましい高齢者を早期に発見し、早期対応につなげる。
- 運動プログラムや認知症予防プログラムなど、介護予防に効果的なプログラムを整備する。
- 地域における介護予防を推進するため、効果的な普及啓発事業を展開する。

【主な事業】(末尾番号は第6章の事業番号に対応)

- ◆ 介護予防運動プログラム事業 48
- ◆ 介護予防生活機能チェック事業 49

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (22年度)	4年後 (26年度)
特定高齢者決定者のうち介護予防プログラム参加者の割合	7.1%	10%	14%
介護予防事業(運動プログラム)参加者数	332人	538人 (21年度)	600人



【介護予防大作戦】



【高齢者水中トレーニング】

- 地域における「新たな支え合い」の仕組みづくりを目指して、区内8か所に設置している地域包括支援センターの圏域を活動範囲とした、コミュニティソーシャルワーク事業を展開する。
- 孤立しがちな高齢者など支援を必要とする方を身近な地域で支えていくため、地域住民、ボランティア等の地域の力を活かした福祉コミュニティづくりを推進する。

【主な事業】（末尾番号は第6章の事業番号に対応）

- ◆ コミュニティソーシャルワーク事業運営費助成 27
- ◆ 見守りと支えあいネットワーク事業 19

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (22年度)	4年後 (26年度)
コミュニティソーシャルワーカー配置圏域数	—	1圏域	6圏域
見守りと支えあいネットワーク事業の見守り希望者数	134人	121人 (21年度)	136人
見守りと支えあいネットワーク事業の協力員実働者数	110人 (20年度)	99人 (21年度)	104人

- 障害者が就労するに当たっての支援や就労後の定着に向けた相談機能等を強化し、障害者が地域で自立した生活を営むための働く環境づくりを推進する。
- 障害者が住み慣れた地域の中で安全・安心に活動できるよう、視覚障害者等への外出支援や情報バリアフリーの拡充、心のバリアフリー化を推進するための地域づくりに取り組む。
- 発達障害や高次脳機能障害に関する理解促進に向けた啓発事業を実施するとともに、区内の大学や関係機関との連携を図りながら相談等の支援体制を整備する。

【主な事業】（末尾番号は第6章の事業番号に対応）

- ◆ 障害者就労支援センターの運営 38
- ◆ 視覚障害者外出支援事業 44
- ◆ 発達障害者支援事業 43
- ◆ 高次脳機能障害者支援対策事業 63

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値	現在 (22年度)	4年後 (26年度)
就労支援センターを経て就職した障害者の就職定着率（2年以上）	—	75% (21年度)	80%以上
公共施設の道案内音声データ件数	—	—	200件
区内大学との連携による発達障害者等相談件数	—	—	延べ1,200件

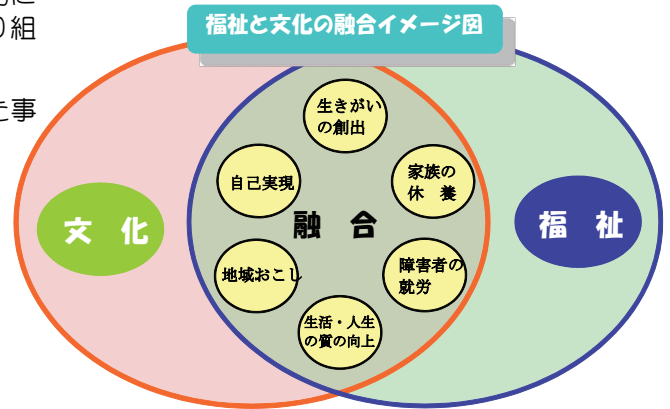
福祉

6 福祉と文化の融合

- 高齢者や障害者の自己実現を支援するため、主体的に文化芸術活動に参加できるプログラムづくりに取り組む。
- 障害者などの創作活動と工賃増や就労に結びつけた事業を推進する。

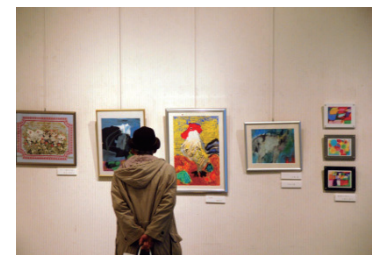
【主な事業】(末尾番号は第6章の事業番号に対応)

- ◆ 障害者文化活動推進事業 53
- ◆ 点字図書館障害者サービス事業 358



【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (22年度)	4年後 (26年度)
障害者美術展来場者数	621人	880人 (20年度)	1,000人
ふくし健康まつり来場者数	9,762人	10,957人	13,000人
さをり織り等売上げ高	654,170円	500,000円 (21年度)	15%増



【ときめき想造展 (障害者美術展)】

福祉

7 つくろう福祉施設！住み続けられるまち

- 大規模特別養護老人ホーム(100床程度)1ヶ所の整備を図り、待機者の解消を目指す。
- 身近な地域で在宅の介護を支えるために、小規模多機能型居宅介護、認知症高齢者共同生活介護等の地域密着型サービス施設の整備を推進する。
- 障害者のグループホーム・ケアホームを誘致する。
- 施設整備に当たっては、区有地の活用を図る。

【主な事業】(末尾番号は第6章の事業番号に対応)

- ◆ 地域密着型サービス等の基盤整備 57
- ◆ 高齢者福祉基盤等整備費助成事業 58

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (22年度)	4年後 (26年度)
特別養護老人ホーム整備数	8施設	8施設	9施設
地域密着型サービス整備数	19施設	21施設	29施設
知的・精神障害者グループホーム・ケアホームの整備数	16施設	22施設	24施設



【特別養護老人ホーム 菊かおる園】